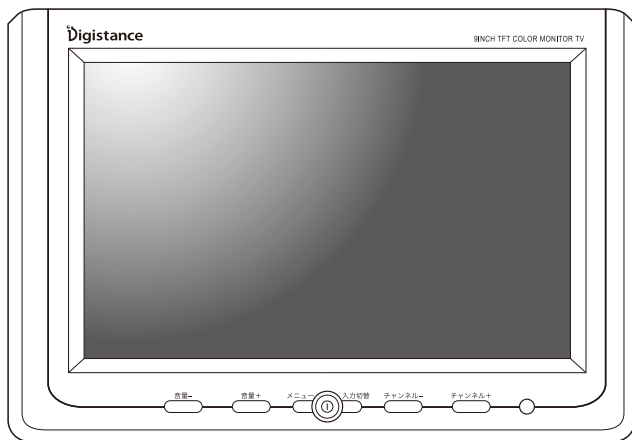
9 INCH TFT COLOR TV

製品型番：DS-TV1090

取扱説明書

はじめてご使用になるときは…

本製品をはじめてお使いになる場合、オートサーチ（受信チャンネルの読み込み）が必要です。
オートサーチを行うことで、はじめてテレビ放送を受信することができます。
（→P10 参照）
本製品はワールドワイドチューナーを搭載しています。チャンネル読み込みの際、国内のチャンネル番号とは一致しない場合があります。また、チャンネル番号の入れ替えはできません。

■ご注意ください

2011年 アナログテレビ放送終了
地上デジタル放送をご覧いただくには専用チューナーが必要となります。 総務省

アナログテレビ放送専用のチューナーのため、2011 年以降は本製品だけではデジタルテレビ放送の受信はできません。

CONTENTS

はじめに…

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

また、必要な時にお読みいただけるよう紛失しないように大切に保管して下さい。

※本製品を初めて使用する際は、まずセット内容をご確認下さい。

●テレビ本体／専用スタンド　●リモコン　● AV ケーブル
● AC アダプター　●車載用 DC アダプター（12V 車専用）
●アンテナ変換コネクタ　●イヤホン　●取扱説明書／保証書

⚠警告　安全の為に電気製品のお取り扱いに際しては、注意事項を遵守して下さい。
物損や身体に危険が及ぶ場合があります。

使用上の注意

■本製品はオートサーチ（P10 参照）でチャンネルを読み込んだ際、お住まいの地域のチャンネル番号と一致しない場合があります。また、チャンネル番号の入れ替えはできません。

■本製品はアナログ放送受信専用機です。地上デジタル放送には対応しておりません。詳しくは 14 ページをご覧下さい。

■電波状況及び放送規格の異なる海外地域ではご使用になれません。建物の陰や室内、地下など、また屋外でも電波の弱いところでは映像を映し出せない場合がありますのでご注意下さい。その場合は、家庭用のアンテナ線をご使用になる事をお勧めします。

■本製品の AV 入力専用ジャックは「USB 形状」のコネクタです。パソコン用 USB 製品（フラッシュメモリ、ワンセグチューナー等）を接続しての使用はできません。

■ TV モニター内の部品には高電圧な物もあり非常に危険です。本製品をご自身で修理したり、分解したりしないで下さい。

■本製品の電圧が家庭用コンセントの電圧と合っているかを確認して下さい（AC100V)。

■不安定な場所、ホコリの多い場所、高温多湿な場所、通気の悪い場所、直射日光のあたる場所などに放置しないで下さい。また車内への放置もおやめ下さい、故障の原因になります。

■本製品をクリーニングする際、アルコール、ベンジン、シンナー等は使用しないで下さい。

■長時間使用しない場合は、コンセントから AC アダプターをはずして下さい。

■本製品を落としたり、強い衝撃をあたえないでください。故障の原因になります。

■本製品の使用に関しまして、本書の説明と明らかに異なる操作や目的に使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ傷害の原因となりますので絶対におやめ下さい。
この場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■取扱説明書に従い、正しく配線して下さい。正規の配線が行われなかったり、改造などを加えると事故の原因となります。この場合、当社は一切責任を負えません。

■本製品は一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用ではご使用できません。

車載でのご利用について

●適切でない電源を使用すると、故障やショートの原因となりますのでご注意下さい。車載用DC アダプターをご使用の際は、本製品と車との電圧・電力・極性が合っているかをご確認下さい（DC12V・2A)。※ 24V 車では使用できません。
●自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、テレビ本体に無理な負荷をかけ、故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンをかけた状態で行なって下さい。
●ご使用後は電源をオフにし、アダプターを取り外して下さい。車内への置き去りは故障の原因になりますのでおやめ下さい。
●車種によっては取り付け、接続ができない場合があります。
●建物や山のかげ、トンネルや地下など、電波の弱いところでは映像を映し出せない場合があります。
●電波が弱い場合は、外部接続アンテナをご使用になる事をお勧めします（外部接続アンテナ別売)。　※本製品には出力端子が付属しておりません。したがって、入・出力それぞれの端子が必要なアンテナシステムには対応しておりません。
●運転中の視聴は絶対におやめ下さい。事故の原因となります。

あらかじめご了承いただきたいこと

●本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。
●本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、当社のカスタマーサポートセンターまでご連絡下さい。
●本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。
●万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、予めご了承下さい。
●接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承下さい。
●地震や雷等の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承下さい。
●故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承下さい。
●保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承下さい。
●本製品は、一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用として使用（店頭での営業宣伝活動や展示等、長時間の連続使用）した場合は、保証期間内であっても、保証の対象外となります。また、日本国内での使用を想定して製造されています。海外でのご使用はサポート対象外とさせて頂きます。

本体各部の名称

本体正面

本体背面

アンテナ

壁掛け用フック
取付け口

スピーカー

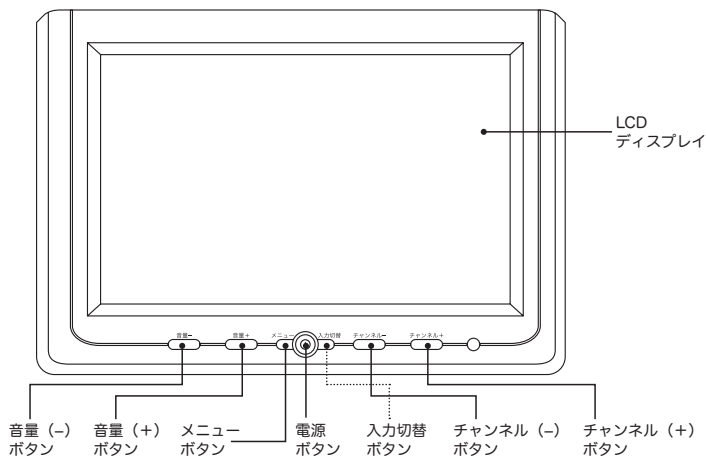
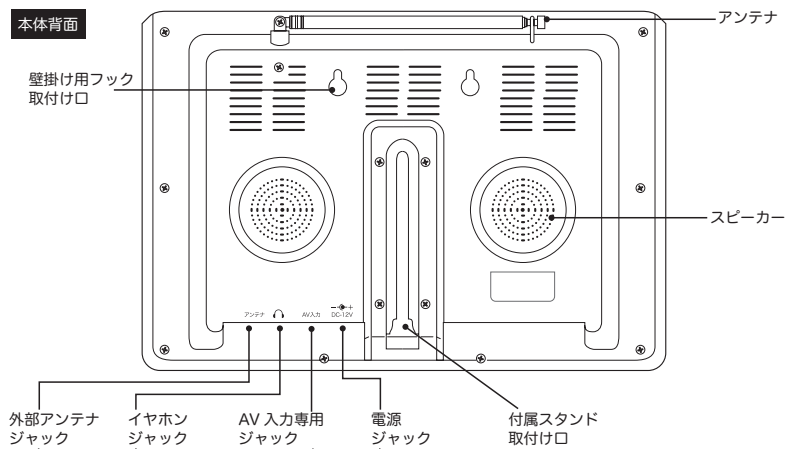
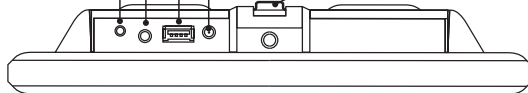
アンテナ　AV入力　DC-12V

外部アンテナ
ジャック

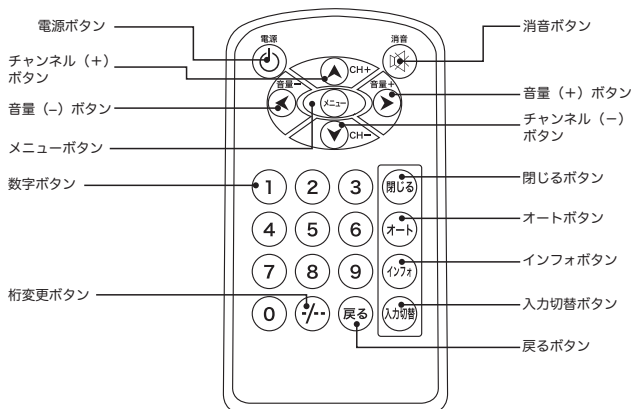
イヤホン
ジャック

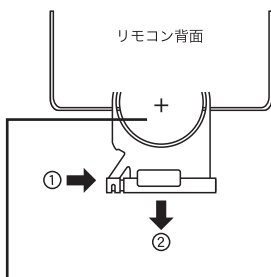
AV 入力専用
ジャック

電源
ジャック

付属スタンド
取付け口

本体底面

※**注意：**本体底面の AV 入力専用ジャックは、USB 端子のような形状をしていますが、PC 用フラッシュメモリや USB 機器等を接続しても使用することはできません。

リモートコントローラーの操作方法

電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます。
チャンネルボタン（＋／ー）	チャンネルを切り替えます。
音量ボタン（＋／ー）	音量を調節します。
メニューボタン	各種設定の変更を行なうメニュー画面を呼び出します。
数字ボタン	数字を入力することでチャンネルを変更します。
消音ボタン	一時的に消音状態にします。もう一度押すと消音状態が解除されます。
インフォボタン	現在のチャンネルを画面に表示します。
入力切替ボタン	ボタンを押す毎に、外部入力モード／テレビモードを切り替えます。
桁変更ボタン	チャンネルを数字ボタンで切り替えるときの桁数（1 ～ 9 → 01 ～ 99 → 001 ～ 113）を変更します。
閉じるボタン	メニュー画面を閉じます。
オートボタン	3 ～ 5 秒間長押しすることで、オートサーチ（P10 参照）します。
戻るボタン	1 つ前に表示させていたチャンネルに戻ります。

リモコンの電池セット

この面が＋になる様にセットします。

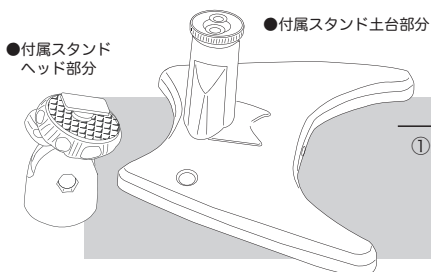
[手順 1] 電池ケース右側の先端部分を①の矢印方向に押します。

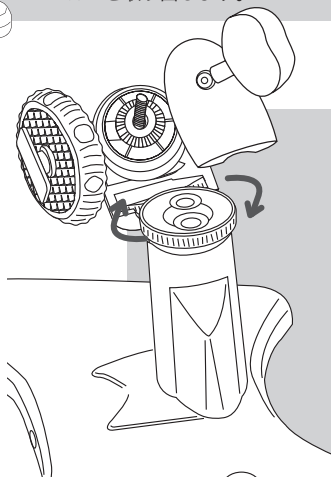
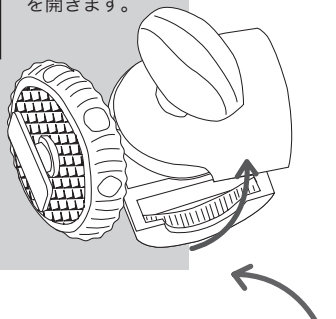
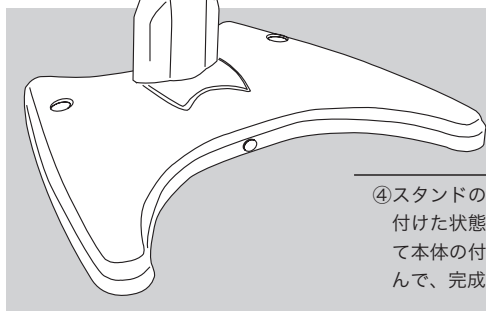
[手順 2] 手順 1 の状態のまま、②の矢印方向にケースを引き抜きます。

■使用する電池はボタン型リチウム電池(CR2025) です。付属のリモコン用電池は、動作確認用になります。通常ご使用になる分は、別途ご用意下さい。

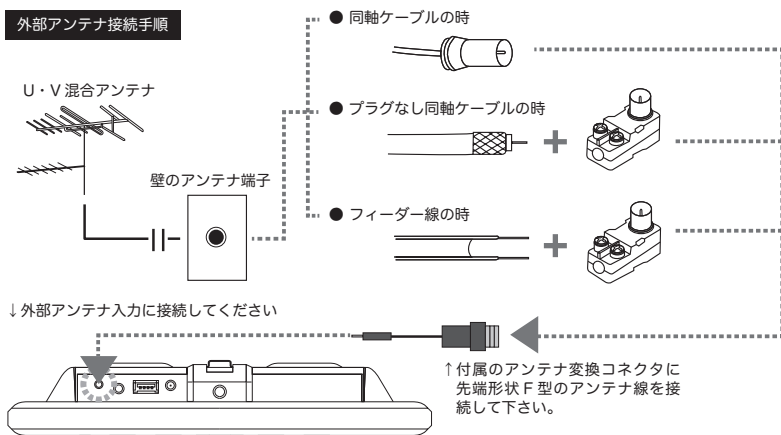
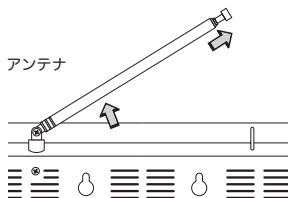
■長時間使用しない場合は電池を取り外して下さい。

■電池を入れる際、＋とーの向きを確認し正しい向きで入れて下さい。

スタンドの組み立て方

①最初に付属品が全て揃っているかを確認し、その中で付属スタンドの土台部分とヘッド部分の２つを取り出します。

②付属スタンドヘッド部分の固定ネジをまわして外し、ヘッド部分を外して土台にかませる部分を開きます。

③スタンドの土台部分にヘッド部分のかみあう箇所をかませて、ヘッド部分をスタンド土台に挟み込むように、取付けます。

④スタンドのヘッド部分を土台部分に取付けた状態で、最後に固定ネジを止めて本体の付属スタンド取付け口に差込んで、完成です。

アンテナ線の接続

外部アンテナ接続手順

内蔵アンテナ設置手順

アンテナ接続の手順

●外部アンテナ接続の場合

1. 壁のアンテナ端子からアンテナケーブルを引き込みます。付属のアンテナ変換コネクタに接続した後、本体の外部アンテナ入力に接続します。
2. テレビの入力切替ボタンを押して映像モードを TV に切り替えて下さい。
3. オートサーチでチャンネルを読み込みます（P10 参照）。
   ※アンテナケーブルは付属しておりませんので、市販のものをご利用下さい。

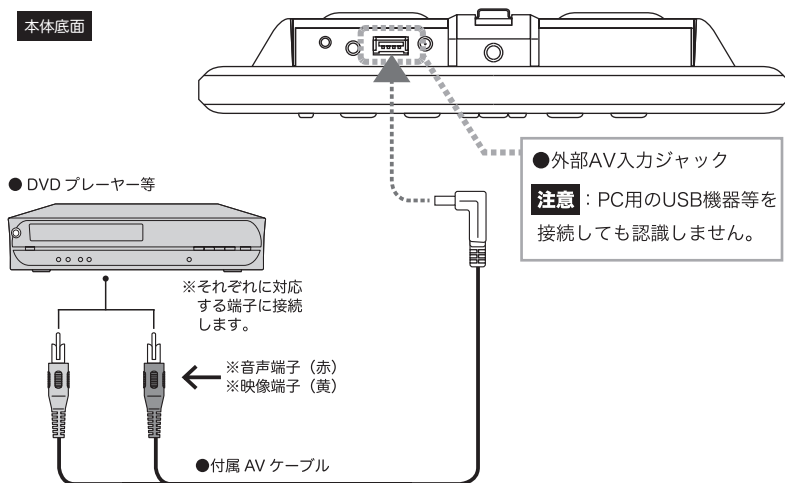
●内蔵アンテナ接続の場合

1. 本体のロッドアンテナを立てます。
2. テレビの入力切替ボタンを押して映像モードを TV に切り替えて下さい。
3. オートサーチでチャンネルを読み込みます（P10 参照）。

※建物の陰や室内、地下等、また屋外でも電波の弱いところでは映像を映し出せない場合がありますのでご注意下さい。その場合は、上で紹介している外部アンテナ線をご使用になることをお勧めします。

外部機器との接続方法

◆接続前の注意事項

※接続するときは、必ず本体と接続する機器の電源を切って下さい。
※付属 AV ケーブルを使用します。
※接続する機器の使用方法や詳しい接続については、それぞれの取扱説明書をご覧下さい。
※本機の「AV 入力専用ジャック」は "USB 形状 " のジャックですが､パソコン用 USB 機器（フラッシュメモリ、ワンセグチューナー等）を接続しても使用できません。

外部機器接続の手順

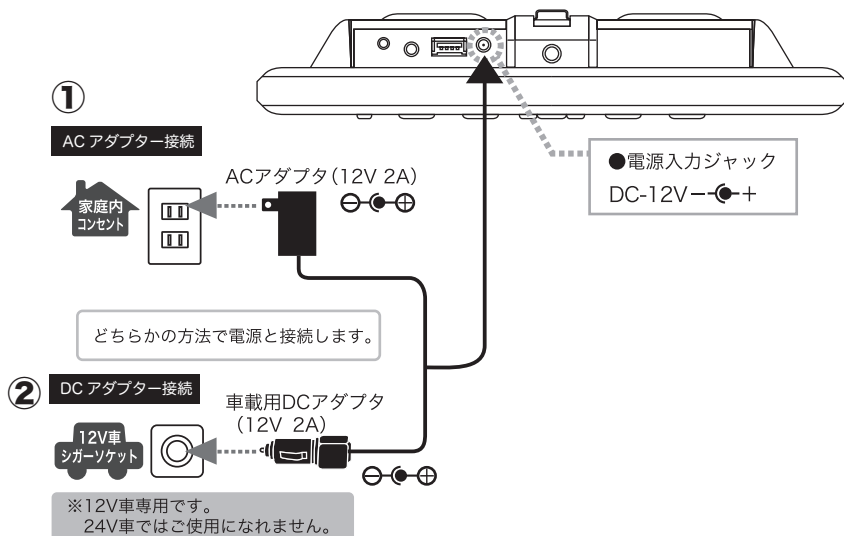
DVD プレーヤー等の接続手順

1. 外部機器の映像出力端子と音声出力端子からテレビ本体の AV 入力専用ジャックをつなぎます。
2. テレビの入力切替ボタンを押して映像モードを AV に切り替えて下さい。

※外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

アダプターの接続方法

※電源の接続は、本体や関連システムが
完了した後に入れて下さい。

※12V車専用です。
24V車ではご使用になれません。

アダプター接続の手順

① AC アダプターの接続手順

AC アダプターを本体底面にある電源ジャックに接続し、壁面のコンセントに差し込みます。

② 車載用 DC アダプターの接続手順

DC アダプターを本体底面にある電源ジャックに接続し、お車のシガーソケットと接続します。

※車載用モニタースタンドは付属しておりません。

※お車の電源が 12V であるか確認して下さい。24V 車では使用できません。適切な電源でないとショートや故障や事故の原因となります。

※自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、テレビ本体に無理な負荷をかけ、故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行なって下さい。

※電源分配器を使用すると、電源供給が不安定になり正常に動作しない場合があります。

TVを使用する前に…、オートサーチをしてください

「オートサーチ」はテレビを視聴するにあたり、必ず行う設定です。

…テレビを見る前に、受信チャンネルを読み込ませます。この操作をしないとテレビ放送を受信することができません。次の手順で、オートサーチを完了して下さい。

1. アンテナ、電源アダプタの接続を完了して下さい（→ P07・09 参照）。
2. 電源ボタンを押し、テレビの電源をオンにします。
3. リモコンまたは本体の入力切替ボタンで映像モードを TV に合わせます。
4. リモコンまたは本体のメニューボタンを押し、メニュー画面を開きます。
5. 画面上部に 6 つのアイコン (画面・音声・設定・システム・TV 調整・時間) が表示されます。メニューボタンを押して右から 2 番目の「TV 調整」に移動します。
6. TV 調整メニュー内の一番上の「オートサーチ」を選択します。
7. " 音量＋ /−" ボタンを押すとオートサーチが開始します。オートサーチが完了するまで、しばらくお待ち下さい。

メニュー画面内の設定と、操作方法

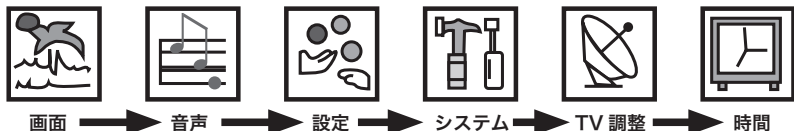
…メニュー画面では各種調整や、設定の切り替えができます。通常テレビをご覧頂く分には、設定の必要のない項目もあります。用途や使用環境に合わせて設定してください。

※本ページ上部で紹介している「オートサーチ」はテレビを視聴する前に、必ず設定してください。

メニュー画面上部のアイコンから、項目を選ぶ

付属のリモコンまたは本体のメニューボタンを押すと、設定画面が開きます。続いてメニューボタンを押すと、設定画面が切り替わります。チャンネルボタンの＋やーボタンを押して設定したい項目に上下移動し、音量＋かーボタンで項目内の設定を変更します。

設定画面「時間」でメニューボタンを押すか、リモコンの「閉じる」ボタンを押す、または一定時間操作がないと、設定画面は閉じます。

画面 → 音声 → 設定 → システム → TV 調整 → 時間

…メニューボタンを押すごとに、設定画面が順番に切り替わります

［注意］：本製品はワールドワイドチューナーを搭載しています。チャンネル読み込みの際、国内のチャンネル番号とは一致しない場合があります。また､チャンネル番号の入れ替えはできません。本製品搭載のチューナーはアナログテレビ放送専用のため、2011 年以降は本製品だけではデジタルテレビ放送の受信はできません。詳しくは P14 をご覧ください。

［補足：読み込みチャンネルの確認］
…オートサーチが完了したらチャンネルを順に切り替え、受信チャンネルを確認して下さい。

画面

リモコンまたは本体のメニューボタンを１回押して「画面」メニューを表示します。
チャンネル＋ / －ボタンを押して設定したい項目を上下移動し、音量＋ / －ボタンで数値を変更します。

チャンネルボタンで項目を移動し、音量ボタンで数値を変更します

◆明るさ

画面の明るさを調節できます。明るさを選択後、音量（+/-）ボタンで調節します。

◆コントラスト

画面のコントラストを調節できます。コントラストを選択後、音量（+/-）ボタンで調節します。

◆彩度

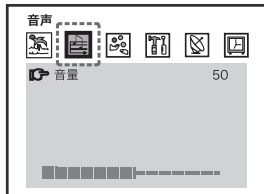
画面の彩度を調節できます。彩度を選択後、音量（+/-）ボタンで調節します。

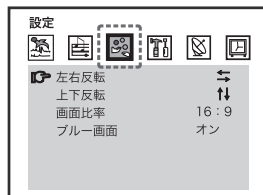
音声

リモコンまたは本体のメニューボタンを２回押して「音声」メニューを表示します。
音量 +/- ボタンを使用して調節します。

音量ボタンで数値を変更します

◆音量

音量を調整できます。音量ボタンの＋、－で設定を変更できます。
※音量は通常ご使用時（TV、外部接続時）には、音量ボタンのみで変更が可能です。

設定

リモコンまたは本体のメニューボタンを３回押して「設定」メニューを表示します。
チャンネル +/- ボタンで設定したい項目を移動し、音量 +/- ボタンを押して設定を変更します。

チャンネルボタンで項目を移動し、音量ボタンで設定を変更します

◆左右反転

画面表示を左右反転します。左右反転を選択後、音量 +/- ボタンで画面の左右を反転します。

◆上下反転

画面表示を上下反転します。上下反転を選択後、音量 +/- ボタンで画面の上下を反転します。

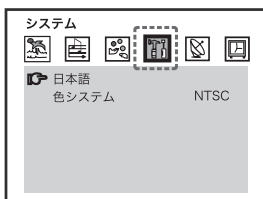
◆画面比率

画面表示の比率を変更します。ズームを選択後、音量 +/- ボタンで「16：9／4：3」を切り替えます。

◆ブルー画面

何も受信していないチャンネルの表示中等、画面に何も映していない時の、背景の表示色を切り替えます。
ブルー画面を選択後、音量 +/- ボタンで設定を切り替えます。

システム

リモコンまたは本体のメニューボタンを４回押して「システム」メニューを表示します。
チャンネル +/- ボタンを押して設定したい項目を上下移動し、音量 +/- ボタンで設定を変更します。

チャンネルボタンで項目を移動し、音量ボタンで設定を切り替えます

◆言語

メニュー画面内で使用する言語を切り替えます。音量 +/- ボタンで言語が切り替わります。選択できるのは、日本語、ENGLISH、DEUTSCH、ESPANOL、PORTUG、NEDERLANDS のいずれかに変更できます。
※本取扱説明書は、日本語を選択した場合の表示について作成してあります。

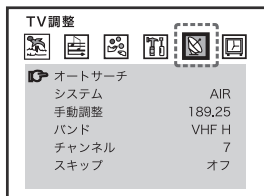
◆色システム

テレビシステムを変更できます。音量 +/- ボタンで、NTSC、SECAM、AUTO、PAL から選択できます。日本国内では AUTO または NTSC を選択して下さい。それ以外に設定すると、適切に画像が表示されない場合があります。
※色システムは TV モードでは変更できません。

TV 調整

リモコンまたは本体のメニューボタンを5回押して「TV 調整」メニューを表示します。

チャンネル +/- ボタンを使用して設定したい項目を上下移動し、音量 +/- ボタンを使用して調節・設定します。

「TV 調整」は、TV モードの時にだけ表示され、設定が可能です。

チャンネルボタンで項目を上下移動し、音量ボタンで設定もしくは調節します。

◆オートサーチ

現在受信できる全ての周波数をスキャンし、チャンネル番号を自動で割り当てます。
オートサーチを選択後、音量ボタンを押すとオートサーチが開始されます。
また、ここで受信できないチャンネルは自動的にスキップ設定がオンになります。
※オートサーチによるチャンネルの読み込みは、本製品でテレビをご覧頂くにあたり、必ず行なう操作です。オートサーチを完了しないと、テレビをご覧頂くことはできません。詳細は P10 をご覧下さい。

◆システム

オートサーチの際に読み込む放送を選択します。
システムを選択後、音量 +/- ボタンで設定を切り替えます。通常は地上波のみ（Air）を選択してください。別に、ケーブルテレビ（CATV）の切り替えが用意されています。

◆手動調整

チャンネル毎に設定された周波数を、手動で変更できます。
オートサーチで受信した放送局の映りが悪いとき等に周波数を微調整し、鮮明な放送を受信できるようにします。
現在画面に映しているチャンネル番号が、画面下段の項目「チャンネル」に表示されています。
チャンネル番号を確認後に手動調整を選択し、音量 +/- ボタンを押して周波数を調節します。

◆バンド

画面下段の項目の「チャンネル」で現在選択されているチャンネル番号の周波数帯域を表示しています。

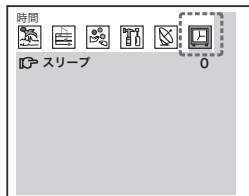
◆チャンネル

現在画面に映し出しているチャンネルの番号です。
項目：チャンネルを選択後、音量 +/- ボタンでチャンネルを変更すると、本 TV 調整画面で表示しているチャンネルごとの設定（周波数帯やスキップ設定等）の確認ができます。

◆スキツプ

テレビを視聴中、チャンネル +/- ボタンでチャンネルを切り替えるとき、スキップ設定で指定したチャンネルを飛ばして切り替わります。
同画面内の項目「チャンネル」で選択中のチャンネルに対してスキップの設定ができます。
「スキップ」を選択後、音量 +/- ボタンで設定を切り替えます。
ここで、オンに設定したチャンネルは、チャンネルボタンでの切り替え時には、スキップされて合わせることができません。

時間

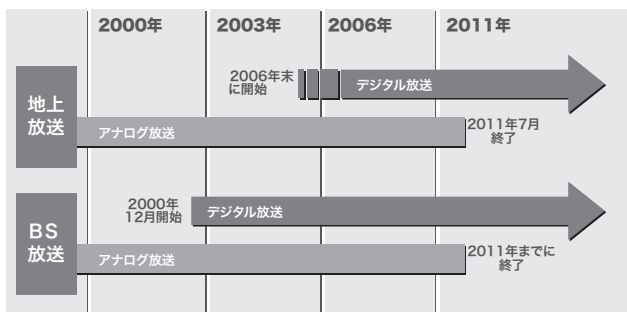
リモコンまたは本体のメニューボタンを6回押して「時間」メニューを表示します。
音量 +/- ボタンを使用して設定します。

音量ボタンでスリープ機能が作動する時間を設定します。

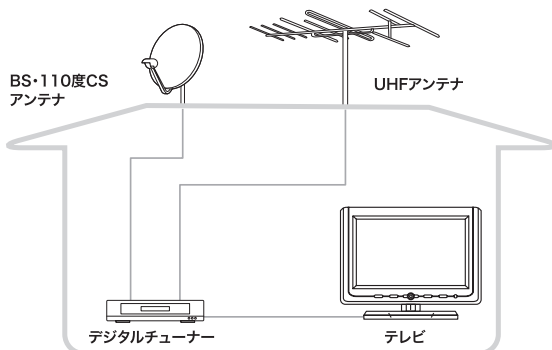
◆スリープ

一定時間（分）経過で自動的に電源がオフになります。
音量 +/- ボタンを使ってスリープするまでの時間を指定します。
10 分刻みで 240 分まで設定が可能です。
※ここでの時間はあくまで目安です、正確なものではありません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは現在限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

本製品は地上アナログチューナーを搭載しております。市販のデジタルチューナーを接続することにより、デジタル放送をご覧頂けます。ただし、受信する画質や縦横比（アスペクト比）はテレビによって異なります。なお、受信にはデジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル共用タイプのチューナーであれば、1 台でそれぞれの放送をご覧頂けます。

トラブルシューティング

本製品が正常に機能しない場合は、こちらをお読み下さい。故障の原因と思われる内容とその解決方法を確認することができます。また、確認の上で解決できない内容がある場合は、保証書をお読みの上、販売店または弊社までご連絡下さい。

故障かな？　と思われる内容・解決方法

■ 起動しない

●電圧の合ったコンセントにしっかり接続されているかを確かめて下さい。車載でのご使用の際は、ご使用のお車の電源が 12V であるかを確認して下さい。異なった電源ですと、ショートや故障、事故等の原因となります。
※ 24V 車では使用できません。
※車載用 DC アダプターを別途ご購入の際は、DC12V、2A 仕様のものをお選び下さい。これ以外の電源ですと、故障等の原因となります。

■画面が映らない
チャンネルが正しくない

●初期設定のオートサーチは完了していますか（P10 参照）？　また、内蔵アンテナでの受信は、使用される場所の電波状況によっては映像が映らない場合があります。その場合は外部アンテナを使用する事をお勧めします（アンテナケーブルは付属しておりません）。また、ワールドワイドチューナーを搭載しているため、オートサーチ後に意図しないチャンネルに読み込まれる場合があります。
● TV 調整メニューの「システム」が CATV テレビになっていませんか？ AIR に切り替えてオートサーチを行うと、正しく読み込まれることがあります。

■チャンネル＋、－ボタンで
合わせられない局がある

●そのチャンネルのスキップ設定がオンになっています。TV 調整メニューのスキップ設定をオフにして下さい。

■画像の上下が 逆さまになる

●設定項目の上下反転が設定されていませんか？
設定項目の「上下反転」で切り替える必要があります。

■画像の左右が 逆さまになる

●設定項目の左右反転が設定されていませんか？
設定項目の「左右反転」で切り替える必要があります。

■画面の色がおかしい

●システムメニュー、テレビシステムが PAL や SECAM になっていませんか？　接続機器にもよりますが、通常日本国内では NTSC または AUTO に設定する必要があります。
● TV 調整メニューの手動調整で、周波数の微調整を行って下さい。

■音声が鳴らない

●消音（ミュート）ボタンを押しましたか？　もう一度消音ボタンを押して下さい。
●（外部入力の場合）音声ケーブルが正しく接続されていますか？

■リモコン操作がきかない

●リモコンと本体の間に障害物はありませんか？
●リモコンがテレビ本体に向けられていますか？
●本体の受光部との距離や角度が大きすぎませんか？
●リモコンの電池の向きは正しくセットされていますか？
●リモコンの電池が切れていませんか？　使用電池はボタン型リチウム電池 (CR2025) です。　※付属のリモコン用電池は動作確認用の為、すぐにバッテリーがなくなる場合があります。

■映像が乱れる

●山やビルなどからの反射電波などが考えられます。周囲の状況についてお調べ下さい。

●アンテナの位置、高さ、向きを調整して下さい。
●アンテナ線がしっかりと差し込まれているかを確認して下さい。
●他のテレビや、パソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器等や無線局等からの電波の混信が考えられます。
使用時には、それらからなるべく離して使用するようにして下さい。

製品仕様

製品型番	DS-TV1090
本体サイズ [スタンド取付時]	255×175×44mm（横幅 × 高さ × 奥行）／重量：950g [高さ：200 ～ 228mm、奥行：125 mm ／重量：1,140g]
本体カラー	シルバー
電源	電源：100–240V 50/60Hz 皮相電力：20 ～ 50VA　DC 出力：12V 2A
消費電力	12W ／待機時：0.8W [区分名：BU、年間消費電力量：25kWh/ 年]
液晶パネルサイズ	9 インチ TFT 液晶モニタ
表示画素数	水平 640× 垂直 234pixels
画面輝度	250cd/m^2
コントラスト比	500：1
視野角	上下 65°～ 65°／左右 70°～ 70°
応答速度	25ms
バックライト寿命	≦ 20,000 時間
チューナー	＊アナログ放送の受信専用機器です。本機だけでデジタル放送の受信はできません。 VHF-L：1 ～ 3ch（91.25 ～ 165.25MHz） VHF-H：4 ～ 12ch（171.25 ～ 463.25MHz） UHF：13 ～ 62ch（471.25 ～ 769.25MHz）
スピーカー	最大出力：2W（1W×2）
入出力端子	コンポジット映像・アナログモノラル音声入力 ＊ 1 外部テレビアンテナ入力／ヘッドホン出力 （＊ 1：付属 AV ケーブルはテレビ接続側のみ専用端子形状）
動作環境	温度：5 ～ 35℃
製造国	中国

※本製品の仕様に関しましては製品改良のため、将来予告なく変更する場合があります。

製造元

株式会社 ゾックス
〒 231-0033
神奈川県横浜市中区長者町 3-8-13　TK 関内プラザ 304

電話：0120-602-302
URL：http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の 10 時～ 17 時
※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。

MADE IN CHINA